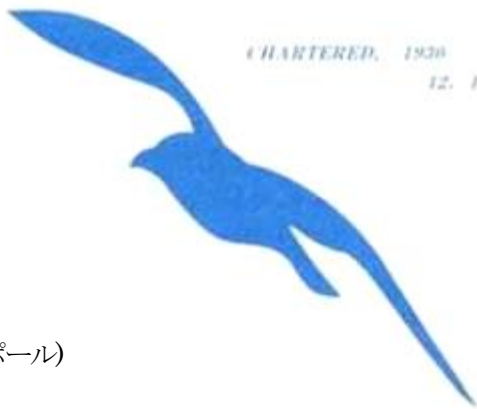




国際会長 (IP) Edward Ong (シンガポール)

“Faith, Love, Action” 「信念、愛、行動」

アジア太平洋地域会長 (AP) 田上 正 (熊本むさし)

“Act now with faith and love!”

「信念と愛を持って行動しよう！」

東日本区理事 (RD) 山下 真 (十勝)

「ワイズらしさの再発見」

“Rediscovering Y's Uniqueness”

かながわ部長 (DG) 兵藤 芳朗 (鎌倉)

「共に歩み 交流を深め 部の「絆」を強めよう」

横浜クラブ会長 (CP) 齋藤 宙也

「信念と愛をもって行動しよう！」

監事 松島 美一

ブリテン 秋元 美晴

担当主事 菅原 歩

会長 齋藤 宙也  
副会長 古田 和彦  
書記 古賀 健一郎  
会計 大高 治  
直前会長 古田 和彦

## <今月の聖句>

古賀 健一郎

光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった。

(ヨハネによる福音書 1章5節)

## 今月のひとこと

### 未知の世界へ旅してみたい

押川幸男

昨年参加した保育システム研究所主催の海外最新保育事業視察ツアーに今年も参加しました。昨年はスウェーデンとデンマークで、「森の幼稚園」とレッジョ・エミリア・アプローチ実践園を視察しました。今年は本場イタリアのレッジョ・エミリア市とミラノ市にあるレッジョ・エミリア・アプローチ実践園を訪ねることができました。今年の10月から羽田空港とミラ



ノのマルペンサ空港との直行便が運航されましたので、それ

を利用することになりました。今回の視察先5カ所は、PANTAREI に依頼して実現したものです。PANTAREI は、1999年に設立された社会的協同組合で、レッジョ・エミリア市で誕生した教育機関です。この教育機関は、Reggio Children の育成プログラムから生まれました。7人の女性の願いと勇気から生まれたもので、今回3人の創業者の方からお話を伺うことができました。実際にレッジョ・アプローチ実践園を訪問して多くの気づきを受けました。果物等の香りを嗅ぐことや光と影をモチーフにしたお部屋、アトリエも備えられていました。また、アトリエリスタ (芸術・音楽・テクノロジーの専門家) やペダゴジスタ (教育調整者) などの専門家が、保育者等とチームを組んで、その教育保育施設の運営に関わっていました。将来的には、日本の各教育保育施設もこれらの専門家たちと一緒にチームを作って、子どもたちにより豊かな教育保育環境を目指していきたいものです。

最後に、この研修ツアーの後、私は個人的にミラノに延泊して、サンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会にあるレオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晚餐」を直接観ることができました。この見学の前に、日本人のガイドから「最後の晚餐」の説明を受けました。修復作業の結果、イエスの口元が開いていることが判明し、これによって「裏切り者がいる」と告げたシーンであること。弟子の裏切りを予言したイエスと、その言葉に動揺する12人の弟子たちを描いたものだそうです。レオナルドは、当時の常識を覆す構成や描写方法、そして遠近法で観る者たちを圧倒したようです。私も絵画の前で圧倒されました。そして、聖書の世界により深い親しみを感じました。まだまだ私たちの知らない世界が多くあります。それらの世界へ可能な限り旅してみたいと思っています。

## <2025年10月例会実績>

| 在籍者 | 出席者                                                       | 出席率                                           | B F                                             |
|-----|-----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 11名 | メン 6名<br>メネット 0名<br>コメット 0名<br>ビジター 0名<br>ゲスト 2名<br>合計 8名 | 73%<br>(メーキャップ<br>2名を含む)<br><br>前月修正<br>出席率 % | 今月分<br>切手 0g<br>現金 0円<br>年度累計<br>切手 0g<br>現金 0円 |

## <11月の行事>

**BF iGo-STEP**

| 日  | 曜 | 時間    | 行事内容        | 場所   |
|----|---|-------|-------------|------|
| 3  | 月 | 8:30  | 中央YMCA フェスタ | 中央Y  |
| 13 | 木 | 18:30 | 第一例会        | 中央Y  |
| 22 | 土 | 13:30 | 第二例会        | とつかY |
| 〃  | 〃 | 15:00 | かながわ部 部大会   | 〃    |

## 第一例会報告

齋藤 宙也

会場：横浜中央YMCA 812 教室

出席者：齋藤、古賀、古田、大高、秋元、菅原

ゲスト：カルタナク スハシニさん(インドからの留学生)

横浜YMCA 専門学校長 山下忠司さん

今年行われた日本語スピーチコンテストの最優秀賞を受賞したカルタナク スハシニさんをお招きし、懇談の時を持った(もう一人予定していたが、体調不良により急きょ欠席)。

スハシニさんは、インド北部、ネパールに近いところの御出身であり、IT 関係の会社に3年勤めていた。留学先として、日本は安全な国だと思って選んだとのことであった。

もともと、このスピーチコンテストに興味はあったものの、自信がなくて当初は手を挙げなかったが、先生からの後押しで参加することにして、3か月ほど前から練習していたという。

例会で、当時の発表を再度(私は初めて)視聴した。日本は、カフェに1人で行くところ、横断歩道で車が止まるところ、電車が静かなところ、時間の正確さなどがインドと異なり、自分の当たり前が変わったとのことであった。しかし、文化の違いによる失敗も含めて楽しむこと、考えて行動する習慣ができ、自分に自信を持つようになったという。論旨が分かりやすく、さすが最優秀の発表であると思った。

その後、懇談に入り、いろいろなテーマについて話を聞いた。本人は(外見からは想像が付きにくい)筋トレが得意ということで、Yのスポーツクラブでアルバイトをしており、そこに来ている高齢者を見て、シニアの昼間の過ごし方が参考になると話していた。また、インドでは女性はまだ自分の意思が抑圧されがちであるが、日本では自由に自律的に生活して、新しいアイデアが生まれているとのことであった。ほかには、①インドは貧富の差が激しく、いまだに、1日1食

分を購入するお金もないような層(日本でいえば、絶対的貧困者ということになる)が少なくないこととか、②インドでは余り(日本でイメージする)カレーは作らず、それ以外の独自のスパイスの効いた料理を作ることが多く、逆に、ナンは月に1回ほど特別な日にしか食べないこと、③インドでは、公的な場所では英語で話さないと罰金となり、学校の授業も全て英語で、ヒンディー語は家族や友達と話するときだけであること、④非漢字圏だが漢字が好きで、徳川家康のこととかいろいろ新しいことを調べるのが楽しいことなどが語られた。

山下氏によると、一般に、インドの留学生は、真面目な人が多いようである。スハシニさんもその例に漏れず、現在は、就職活動をして日本に住み続けたいと希望している。その前途を応援したいと思う懇談の場であった。その後、食事会にも来てもらったが、出てきた日本の料理を何でも食べていて、日本文化に素早く順応していることにも感心した。

なお、その余の例会の議事は、平常どおりつつがなく執り行われた。



カルタナク スハシニさん

## 美しい港町横浜をつくる会 清掃活動報告

古賀 健一郎

《「第30回 美しい港町横浜をつくる会」清掃活動概要》

日時：2025年10月11日(土) 8:30~11:00

集合場所：桜木町・日本丸メモリアルパーク

清掃場所：(ワイズ・YMCA 関係者班)大通り公園 から石の広場まで

参加企業：横浜YMCA、日産自動車、テレビ神奈川、京浜急行、高島屋、神奈川新聞社、横浜銀行、横浜DeNA ベイスターズ、有隣堂、けいゆう病院(神奈川県警友会)ほか  
「美しい港町横浜をつくる会」は、「横浜を世界一美しい町にしよう」という志のもと、地域貢献に関心を持つ企業や団体が連携し、清掃活動などを行っています。横浜YMCAもその一員として継続的に参加しており、この活動は横浜市内でも最大規模の清掃ボランティアの一つです。

当日は山中竹春横浜市長のご挨拶のもと、42の企業・団体から約400名が参加しました。先日のYVLF(ユース・ボランティア・リーダーズ・フォーラム)でも学んだように、環境問題は決して他人事ではありません。「小さな一滴が、やがて大きな流れとなる」ことを信じて、今朝の清掃活動に取り組みました。

一方で、ごみのポイ捨てという無責任な現状には心を痛めます。横浜クラブ会長であり弁護士でもある齋藤ワイズが

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★



ら、「廃棄物処理法に違反する行為は、現行犯であれば刑事罰の対象となる可能性がある」との指摘もありました。心ない行為をする人々にも、ぜひこの言葉を胸に刻んでほしいと思います。

山火事の中で一滴の水を運び続けたハチドリの寓話があります。他の動物たちが逃げる中で、「自分にできることをやる」と言い続けた小さな鳥の姿に、個人の行動の力を重ね合わせました。

「ハチドリの一滴」——それは、私たち一人ひとりの祈りと行動の象徴です。

横浜クラブ参加者：秋元、古賀、齋藤、佐竹、菅原、古田



日本丸メモリアルパークに集合した参加者

## 第28回横浜 YMCA インターナショナル・チャリティーラン報告

古田 和彦

第28回横浜 YMCA インターナショナル・チャリティーランは、10月18日（土）、臨港パークで「リアル大会」を、別途、累積歩数で競う「オンライン大会」は10月1日から15日まで行われた。ワイズメンについては、例年に倣い、実行委員長をかながわ部部長である兵藤ワイズが担い、各クラブワイズメンは受付等運営のボランティアを担った。

好天に恵まれ、気持ちの良い一日であった。8:00 スタッフとボランティアが集合し、スタッフの関口さんの司会で受け入れ側の全体ミーティング。まず関口さんが祈りをささげ、次いで大会実行委員長である兵藤ワイズから挨拶、続いて、神奈川安全赤十字奉仕団の方から救護の説明を受けた。そののち、テントを張ることや、のぼりを立てることなど開会の準備を行い、ワイズは主に、受付関係の準備を行った。受付開始は9時からで、各参加チームへのゼッケン等を渡した。

レースは9:30 小学生コースから開始、10:00 スペシャルラン、10:30 幼児コース、11:00 一般と続いた。レース開始後は、走るコースを間違えないように、ワイズの多くはコースの中に立ち選手の誘導を行った。小学生コースでは15チームが、スペシャルラン（仮装や障害のある方のチームなど）コースでは14チームが走り、私たちの支援している横浜 YMCA 専門学校チームはこの部門に参加、5人のランナーはそれぞれ自国の旗を掲げて走った。その第1走者は、先月、横浜クラブの例会に来られ懇親を深めたインド出身のスハシニさんでした。幼児コースは、25チームが2回に分かれて走った。一生懸命走る幼児はかわいらしくけがをしないよう祈るばかり。最後の一般は13チームで、距離も一段と長く800メートルで迫力があつた。

11:30、協議終了、閉会式となり、各コースの優勝者やオンライン大会での優勝者が表彰された。表彰式には、日本

YMCA チャリティーラン全体の運営委員長であるパラリンピックメダリストの富田宇宙さんがご挨拶の後、表彰状を手渡された。また、支援金として422万円が兵藤実行委員長から工藤横浜 YMCA 理事長に贈呈された。支援金は横浜 YMCA が行う障がい児・者対象のプログラムに使われる。その後、後片付け・ビブスを返却し、12:30 解散した。

私の個人的感想としては、子供たちや障がいのある方々が目の前を一生懸命走る姿に接することはとても嬉しく応援の声も大きくなってしまう。中にはコースをはみ出しそうな子もいて、私などがそれを見ていたことになる。また、車いすの方が走ったが、よく見ると、平らな道路の上にも小さな凹凸が随所にあり、車いすの大変さを思わされた。

横浜クラブからは大高、古賀、齋藤、佐竹、古田の5名が参加した。



支援した専門学校チームの走者と横浜クラブの面々



ボランティアとして参加したワイズメンたち

## 近況

### 日本聖書協会 150年のあゆみ

秋元 美晴



10月1日、日本聖書協会により聖書普及事業150年を記念する式典が、東京都文京区にあるカトリック関口教会の東京カテドラル聖マリア大聖堂で開催されました。約380人もの各教団・教派の代表者や賛助者らが集い、教派を超えて「神の言葉をすべての人に届ける」を使

命に仕えてきた1875年から2025年までの150年間の歩みが紹介され、神を賛美するとともに、今後の発展に向けた決意が共有されました。

私はその中で流された聖書協会の歴史の映像がとても印象的でしたので、次に簡単にまとめてみます。

日本における聖書協会の働きは、1870年代から始まっており、1875年にスコットランド聖書協会、翌年に米・英両聖書協会が横浜に支社を設立した。日本聖書協会は、これらの3つの聖書協회를統合して1937年に発足した。1887年に宣教師のヘボンやブラウン達を中心に進められていた聖書の和訳『文語訳聖書』が発行された。海外の聖書協会の支援を受けていたが、1937年には日本聖書協会として自立した。まもなく第二次世界対戦が勃発し、聖書協会にとって苦難の時代を迎えた。成立当時114万冊あった聖書頒布数は、終戦時には23冊までに落ち込んだ。しかし、戦後さまざまな海外からの支援を受け、1955年には『口語訳聖書』を発行し、1987年にはカトリック教会とプロテスタント教会が共同して取り組んだ『新共同訳聖書』を発行。そして、2018年には31年ぶりに『聖書協会共同訳』を発行している。現在の激動の時代も、聖書協会は人々の心の支えとなり、人生の光となる変わらない大切なものである聖書を世界中に届けている。

この映像の最後は、冒頭と同じ「草は枯れ、花はしぼむ。しかし、私たちの神の言葉はとこしえに立つ。」（イザヤ書40章8節『聖書協会共同訳』）で締めくくられました。

巨大な東京カテドラル聖マリア大聖堂の中に座り、私は神様が150年にわたり、私たち日本人にみ言葉を伝えるための和訳の『聖書』を与え続けてくださったからこそ、私は今こうしてクリスチャンになることができたのだと、感謝の思いで胸がいっぱいになりました。

## 第二例会報告

大高 治

日時 ; 2025年10月23日(土) 17:00~18:00

出席者 ; 秋元、大高、古賀、斎藤、古田

場所 ; ZOOM

古田副会長のお祈りに続いて開始。

### 1、行事予定の確認

10月23日(木) から2月21日(水) の第一例会までの主要な確認事項

- ・11/22(土) 横浜クラブの第二例会 13:30~ とつか YMCA 2F
- ・同日同Yにて、かながわ部部大会 15:00~
- ・12/20(土) 横浜YMCA クリスマス礼拝、中華教会
- ・12月例会は休み
- ・1/17(土) YMCA・ワイズ合同新年会(兼第一例会) 18:00 から廣東飯店で
- ・2/11(水、休) YMCA 会員大会(兼横浜クラブ第一例会)

### 2、協議・報告事項

#### (1) 例会計画

・11/13(木) 卓話: 佐竹総主事に依頼していた「美しい港町横濱を作る会」の方による卓話は、来年4月に延期。代わって加藤利榮ワイズに依頼する。それも難しい場合は古田ワイズに「海岸教会」創設のころのお話をお願いする。

・12/11(木) 第一例会は中央Y各部門訪問; 部門や時間調整を菅原さんをお願いする。

・3/12(木) 卓話「平和の語り部」を篠崎美生子様(明治学院大学教授、秋元ワイズの元同僚) をお願いする。

#### (2) 中央Y フェスタ

・11/1(土) バザー準備会: 606教室、集合; 12:00(可能なワイズ)、13:30(お手伝いの方) 一部の方はつづきクラブのYou&I コンサートの打ち上げへ参加、近隣クラブとの交流を大切にする。

・11/3(月) バザー本番集合時間; 9:00(YMCA 職員の打合せ、可能なワイズは参加してほしい)、9:00~9:30(ワイズとお手伝いの方)

スピーチコンテストの成績優秀者、スハシニさんの「ヒンディー語体験授業」13:10~13:40 にバザーの合間を見て参加する。

(3) かながわ部会; 会費1,000円

(4) ブリテン計画; 異議なし

(5) その他

・ワイズフラッグの支柱; 厚木クラブから頂いた。中央Yフェスタから使用。

・ロースター; 4部届いた。11月例会時配布予定。

・BAPY基金の募金は10月までキャンペーン中、予算に計上している5万円を10月末までに送金する。



担当主事 菅原 歩

涼くなったかと思えば暑い日もあり、冬の気温を感じる日もあり、毎日何を着れば良いのか分からず、身体が気温についていけないと感じることも多い日が続きました。

それでも道を歩いているとふとした時に金木犀の香りを感じることがあり、そこで改めて「秋がきた」と感じる10月でした。

子どもの頃は全く意識をしていなかったと思いますが、いつからでしょうか? 周りの大人やテレビなどで「金木犀の香り」という言葉を聞き、実際に意識して知ることができ、自然の移り変わりを感じることができました。「知る」「体験する」「経験となる」この3つの流れを子どもたちにも伝えていきたいと思う10月です。

10月

1日~31日 お米一合運動

1日 中区常盤町清掃活動

11日 美しい港町横濱をつくる会清掃活動

13日 YMCA 記念日

18日 インターナショナル・チャリティーラン

31日 中区常盤町清掃活動

## 11月例会プログラム

日時：11月13日（木）18：30～20：00

場所：中央YMCA・オンライン

司会：大高ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶・・・・・・・・・・齋藤会長
2. ワイズソング・ワイズの信条・・・・全員
3. 今月の聖句・・・・・・・・・・古賀ワイズ
4. ゲスト・ビジター紹介・・・・・・・・齋藤会長
5. 卓話・・・・・・・・・・古田ワイズ  
「海岸教会 最初の牧師招聘に至るまで」
6. ビジネス・報告・・・・・・・・・・齋藤会長
7. *Happy Birthday* 伊藤誠彦 押川幸男
8. 閉会点鐘・・・・・・・・・・齋藤会長

例会報告 古田ワイズ

## 12月の行事予定

| 日  | 曜 | 時間    | 行 事 内 容           | 場 所  |
|----|---|-------|-------------------|------|
| 2  | 火 | 19：00 | 第108回Y-Ys協議会      | 中央Y  |
| 11 | 木 | 18：30 | 第一例会              | 中央Y  |
| 20 | 土 | 13：30 | 横浜YMCAクリスマス<br>礼拝 | 中華教会 |

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 菅原歩にご連絡下さい。

メール [sugahara\\_ayumu@yokohamaymca.org](mailto:sugahara_ayumu@yokohamaymca.org)

電話 045-307-7556